

熊本大名誉教授ら 「熊本橋紀行」出版

県内のさまざまな橋を紹介する「熊本橋紀行」（熊日出版）を、熊本大名誉教授の崎元達郎さん（76）＝熊本市＝と元会社員の福島通安さん（87）＝同市＝が出版した。

崎元さんは橋梁・構造工学が専門で、熊本大学長などを歴任。福島さんは放送大学熊本学習センターで崎元さんの講義を聴き、橋の魅力にとりつかれたとい

う。

県内の主な橋を網羅的に紹介する本がこれまでなかったことから、2人の共同作業で出版。歴史的価値のある橋、地域振興に貢献した橋など134本の歴史や構造を、豊富なカラー写真

入りで紹介している。

熊本地震で崩落した阿蘇大橋（南阿蘇村）と開通した新阿蘇大橋（同）、昨年7月の豪雨で流失した第二球磨川橋梁（球磨村）などは災害とのかかわりを考えさせる。県のアートのポリス事業で造られた杖立橋（小国町）、馬見原橋（山都町）などは従来の橋の役割を超える新しい設計思想を具現化した。

崎元さんと福島さんは「本書をガイドブックとして各地の橋に足を運び、社会における橋の重要性を改めて考えてほしい」と話している。

A5判、280ページ。2750円。（園田琢磨）



「熊本橋紀行」を共著で出版した崎元達郎さん＝熊本市東区